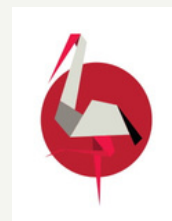


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年10月4日 / Vol. 021



9月26日(月)～10月2日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

冬服購入用商品券の贈呈式の実施



ご支援総額

2022年9月30日までの寄付総額 103,301,960 円

寄付金使用総額 2196277.28 zł (6370万円)

9/19(月)～9/25(日)の期間中の寄附金使用額

632544.69 zł(約1835万円)

9月30日(金)の贈呈式は、在ポーランド日本国大使とクラクフ市副市長にご協力頂き、参加した避難民に商品券を贈呈した。

活動内容



支援所への支援物資提供

クラクフ中央駅地下のカリタス支援所へ週2回の支援物資の買い出し支援を実施。

カリタス支援所は3か月近く、2名のスタッフが毎日入れ替わりで支援所を運営しており、人手不足による支援疲れの様子が見受けられる。



レストランプロジェクト

4店舗と協力し1週間で約730食を提供。

レストランプロジェクト参加店のうち2店舗は現地ボランティア・支援所を介してクーポンが配布されるため、利用者から「毎日利用させて欲しい。」といった問い合わせを受けることもある。

このような問い合わせには、生活の困窮レベルに応じて、適宜食材支援等に移行するよう対応している。



食材支援（毎週金曜日）

28家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人あたり50złの予算を設け、合計で 3781.19 zł (約109,000円)分の食材を購入。

最近は母親の代わりに子どもだけで買い出しに参加している学生の姿も増え、予算内で食材を購入出来るよう、リストを見ながら上手に商品選びをしている。

余った予算でコーラを購入したりと、週に1度の食材支援は、学生たちにとっても重要な気分転換の機会となっている。



活動内容



冬服購入用商品券贈呈式の実施

在ポーランド日本国大使、クラクフ市副市長、並びに日本美術技術博物館(マンガ館)のご協力により、約100名の避難民へ冬服購入用商品券の贈呈式を実施。

冬用の衣類と靴の購入のため、一人につき 500zł (約14,500円) 分の商品券が手渡しで贈呈された。

商品券は、クラクフ市福祉課が作成したリストを基に、合計で2,000名の避難民の方に順次配布される。

在ポーランド日本国大使、クラクフ市副市長による商品券贈呈の様子



クラクフ市福祉課スタッフへ商品券引き渡し



商品券と説明書の梱包作業の様子





現地の動向

民間によるウクライナ避難民支援と、避難民による支援募集のコミュニケーションは、FacebookなどのSNSを通じて行われている。

Facebook上には多くのウクライナ支援グループが設立されているが、Kraków dla Ukrainy というグループには、約4.1万人の人々が参加し、住居や衣類、電化製品の提供を求める投稿であったり、ベビーシッターなどの仕事を求める避難民の投稿が多く見られている。

9月末には、クラクフとグダンスクに臨時のウクライナパスポートセンターが設立された。

センターには多くの人々が詰めかけており、パスポートは最短6日で発行されている。

